

2018 年度日本活断層学会論文賞

受賞者：八木雅俊・坂本 泉・田中博通・横山由香・井上智仁・光成 魁・アイダンオメル・藤巻三樹雄・根元謙次

対象論文：高分解能地層探査およびコアリング調査に基づく沿岸海域における活断層の活動履歴の解明-八代海における日奈久断層帯を例として-, 活断層研究, 45, 1-19.

授賞理由：

2005 年の福岡県西方沖地震や 2007 年の能登半島地震・中越沖地震などが顕著に示したように、沿岸域に分布する活断層が活動すると大きな被害が発生するが、海域における活断層の分布や活動履歴に関する情報は陸域活断層と比べると質量共に不足している。本論文は、高分解能の地層探査およびコアリング調査によって、八代海に分布する日奈久断層帯の位置・変位様式・活動時期などを高精度で明らかにした論文である。海域の活断層についても、過去 2 万年間の活動履歴を陸域に匹敵する精度で明らかにできることや横ずれ変位地形も抽出できることを具体的に示した論文であり、沿岸域活断層調査の典型例として今後長く参照されるものと思われる。膨大な調査データがわかりやすく提示されており、完成度の高い論文である。以上のような観点から、選考委員会は本論文を 2018 年度日本活断層学会論文賞に値するものと評価する。